

2020年6月26日

運輸総合研究所
研究報告会 2020年夏（第47回）
オンライン配信のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

運輸総合研究所におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「研究報告会 2020年夏（第47回）」をオンライン配信にて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

ご参加にあたりましては、大変恐縮ですが、申込み専用URLからお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

公開日：2020年7月22日（水）10：00～8月21日（金）10：00

（1ヶ月間は、ご送付したURLからご参加頂けます。）

プログラム：別紙参照

参加方法：お申し込みいただいた方に、視聴用のURLをメールにてご送付いたします。
（7月20（月）までにお申し込み頂いた方には、**7月21日（火）にURLをご送付**いたします。）

費用：無料

お申込み：下記のURLよりお申し込みください。
<https://krs.bz/jterc/m/sympo47>
（**8月20日（木）**までお申し込みいただけます。）



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所 企画部（担当：新倉(にいくら)）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD神谷町ビル）
TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8419
E-mail：collo@jttri.or.jp HP：<https://www.jttri.or.jp>

運輸総合研究所 研究報告会 2020年夏(第47回)



オンライン配信

プログラム

●公開日：2020年7月22日（水）10:00～8月21日（金）10:00

（1ヶ月間は、ご送付したURLからご参加頂けます。）

*アクセスが集中した場合、映像が適切に表示されない場合があります。しばらく経ってから再度アクセスをお願いします。

開会挨拶 宿利 正史 運輸総合研究所会長

所長挨拶 山内 弘隆 運輸総合研究所所長

報 告（各30分）

(1) 「多様な働き方の時代における都市鉄道の混雑対策
－時間差料金制等に対する企業の意識を踏まえて－」

山田 敏之 研究員

鉄道混雑が企業の生産性に与える影響を確認するとともに、働き方の変化を踏まえ、時間差料金制等に対する企業の反応などを分析し、都市鉄道の混雑対策への示唆を得る。

(2) 「公共交通網までの端末型自動運転サービスに関する需要分析
－需要特性、公共交通への影響、TOD－」

安部 遼祐 研究員

駅やバス停までの端末型自動運転サービスについて、需要特性の分析、公共交通需要への影響の推計を行うことで、同サービスの活用可能性に関する基礎的な知見を示す。

(3) 「地方の公共交通の活性化・再生等の取り組みの評価」
林田 拓人 主任研究員

人口減少・労働力不足等の中で地方のバス事業等が旅客数を維持することを想定し、これまでの地方の公共交通の活性化・再生等の取り組みについて分析した結果を報告する。

(4) 「海事分野における規制緩和とその効果－旅客船事業の事例を中心に－」
小野 芳計 主任研究員

我が国の運輸分野の規制緩和について整理するとともに、海事分野、特に旅客船事業に焦点を当て規制緩和とその効果について考察し、それを踏まえて政策的含意を示唆する。

(5) 「観光誘客におけるプレイス・ブランディングの有用性に関する考察
－地域に関するブランディングの現状を踏まえた検証－」

岩田 賢 主任研究員

地域の特産品やサービス、地域資源をブランド化の対象とする地域産品ブランディングと地域空間自体を対象とするプレイス・ブランディングを対比し今後の示唆を提示する。

今後の予定

司会 齋藤 悠 主任研究員

運輸総合研究所 研究報告会 2020年夏(第47回)

～ 講演者プロフィール ～



開会挨拶 宿利 正史

一般財団法人運輸総合研究所会長

1974年東京大学法学部卒、運輸省(現:国土交通省)に入省。航空局審議官・管理部長・次長、大臣官房総括審議官、自動車交通局長、総合政策局長、大臣官房長、国土交通審議官、事務次官を歴任。



2013年8月から東京大学公共政策大学院客員教授(交通政策)、2014年4月から一般社団法人国際高速鉄道協会(IHRA)理事長を務める。2018年6月より現職。

所長挨拶 山内 弘隆

一般財団法人運輸総合研究所所長／

一橋大学大学院経営管理研究科特任教授
慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。中京大学商学部専任講師、経済学部専任講師、一橋大学大学院商学研究科教授、一橋大学大学院商学研究科長兼商学部長を経て、現在、運輸総合研究所所長兼一橋大学大学院経営管理研究科特任教授。専門領域、



交通経済論、公共経済学、公益事業論、規制の経済学。内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省交通政策審議会委員、同社会資本整備審議会臨時委員等を歴任。

報告① 山田 敏之

運輸総合研究所研究員

2000年東京工業大学土木工学科卒業、(株)建設技術研究所入社。2018年より運輸総合研究所研究員。都市鉄道や観光と地域交通に関する研究に従事。



報告② 安部 遼祐

運輸総合研究所研究員

東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了。博士(工学)。スイス連邦工科大学チューリッヒ校客員研究員、東京大学大学院工学系研究科特任研究員を経て現職。専門領域は交通計画、交通行動分析、特に、都市・地域の交通システム分析。自動運転やAI活用などの調査研究に従事。



報告③ 林田 拓人

運輸総合研究所主任研究員

1989年東京大学経済学部卒業、運輸省(現:国土交通省)入省。総合政策局情報政策課、衆議院調査局、運輸審議会審理室等を経て現職。



報告④ 小野 芳計

運輸総合研究所主任研究員

1978年東京大学大学院経済学研究科修士課程修了、運輸省(現:国土交通省)入省。海上保安庁国際・危機管理官、九州運輸局次長、国土交通大学校教授等を歴任。その他に政策研究大学院大学客員教授、一橋大学特任教授を歴任。2018年より現職。専門領域は交通経済学、交通政策、規制緩和政策、海事・物流。



報告⑤ 岩田 賢

運輸総合研究所主任研究員・企画部長

1996年一橋大学経済学部卒業、2005年ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)規制学修士。1996年運輸省(現:国土交通省)入省後、交通、観光担当等を経て、2012年三重県庁観光局次長、2014年日本政府観光局本部及びニューヨーク事務所長を歴任。2018年より現職として、観光ブランディング、観光と地域交通研究に従事。書籍『DMOのプレイス・ブランディング:観光デスティネーションの作り方』を編著。

